

令和4年度 施策評価シート

基本目標		区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	520	生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる
施策の目標	区民が、趣味や教養、文化活動など、さまざまな生涯学習活動に主体的に取り組み、生きがいのある生活を送っています。また、区民の間に生涯学習の輪が広がり、自身が習得した学習成果を地域活動に活かしています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「さまざまな学習活動に取り組んでいる」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					40.0%					42.0%
実績	38.1%				39.2%					
指標名	「身近な場所で学習活動ができる」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					53.5%					60.0%
実績	52.0%				49.1%					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
図書館は、さまざまな学習活動ができる場として、大きな役割を果たせる一方、コロナ禍のため、来館を控える利用者のために、非来館型サービスの取組の工夫及び充実を図っていく必要がある。	R1	556,133
	R2	633,729
	R3	592,545

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	コロナ禍が続くなか、各事業の必要性は高いことから、引き続き、利用者へのサービスの提供方法等、工夫や改善に取り組んでいく。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
基本的な事業は整備されてきているが、より効果的で効率的な事業運営を図っていく必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
非来館型サービスとして、ホームページを活用した情報発信や資料展示の充実を図るとともに、ネット環境を活用した事業の実施を検討していく必要がある。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
				評価対象年度		
1	図書館管理運営費	212,380	14,073	226,453	980,000	現状維持
					877,907	令和3年度
2	図書館事業費	177,462	16,712	194,174	980,000	現状維持
					877,907	令和3年度
3	資料購入費	65,091	33,424	98,515	980,000	現状維持
					877,907	令和3年度
4	障害者サービス事業	2,079	18,471	20,550	260	現状維持
					228	令和3年度
5	子ども読書活動推進計画 事業費	52,676	40,460	93,136	13	現状維持
					16	令和3年度
6	図書館と学校図書館の連 携事業	15,886	12,314	28,200	46	現状維持
					52	令和3年度
7	図書館オンライン事業	64,763	15,832	80,595	445,000	現状維持
					703,741	令和3年度
8	視聴覚資料	2,208	7,037	9,245	980,000	現状維持
					877,907	令和3年度

令和4年度 事務事業評価シート

施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位
事業名	図書館管理運営費		1
目的	安全かつ適正な施設管理を行うことにより、来館者が快適で利用しやすい環境をつくる。		主管課・係（担当）
			ひきふね図書館 03-5655-2350
対象者	来館者 （主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方）		
根拠法令 関連計画	教育基本法、社会教育法、図書館法、文字・活字文化振興法、墨田区立図書館条例等		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤7、(株)図書館流通センター（指定管理館）
事業内容	図書館施設の維持管理 緑図書館・立花図書館・八広図書館は指定管理者制度による施設運営		
経過	開始年度		終了予定
	<p>[昭和27年度] 墨田区立寺島図書館が開館（東京市立 墨田区立）</p> <p>[昭和32年度] 緑図書館が緑二丁目1番地に開館</p> <p>[昭和37年度] あずま図書館が吾嬬町西三丁目1番地に開館</p> <p>[昭和55年度] 立花図書館・八広図書館が開館</p> <p>[平成2年度] 緑図書館が緑二丁目24-5号に新築・開館</p> <p>[平成14年度] 窓口業務に一部委託導入</p> <p>[平成25年度] あずま図書館と寺島図書館を統合し、ひきふね図書館が開館</p> <p>[平成29年度] 緑・立花・八広各館に指定管理者制度導入</p>		
議会質問 の状況	なし		
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 第26回墨田区住民意識調査（令和2年度）における「図書館」の利用頻度 ・年1回～数回程度利用 26.0%（区の18の施設のうち1位）		

予算・決算額推移（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額（事業費）		213,105	211,182	217,453	301,676	215,445	239,326
A. 決算額（令和4年度は見込み）		207,605	209,397	213,163	262,024	212,380	239,326
財源	国						
	都						
	その他	26	25	27	25	17	12
一般財源		207,579	209,372	213,136	261,999	212,363	239,314
執行率（%）		97.4%	99.2%	98.0%	86.9%	98.6%	100.0%
B. 人コスト			15,750	13,981	14,115	14,073	
総事業決算額（A+B）		207,605	225,147	227,144	276,139	226,453	
予算書P（令和4年度）	P257 2-(1)(2)	執行実績報告書P（令和3年度）			P199 2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費等	752	需用費	消耗品費等	861	需用費	消耗品費等	1,069
役務費	清掃等	8,717	役務費	清掃等	8,456	役務費	清掃等	8,842
委託料	指定管理料等	172,347	委託料	指定管理料等	171,438	委託料	指定管理料等	196,348
使用量及び委託料	駐車場使用料等	2,977	使用量及び委託料	駐車場使用料等	2,965	使用量及び委託料	駐車場使用料等	3,130
工事請負費	補修費等	51,692	工事請負費	補修費等	1,499	工事請負費	補修費等	1,697
備品購入費	備品購入費	73	備品購入費	備品購入費	78	備品購入費	備品購入費	91
負担金補助及び交付金	電気料負担金等	25,469	負担金補助及び交付金	電気料負担金等	27,083	負担金補助及び交付金	電気料負担金等	28,149

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	開館日数				単位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		342	R7	目標	346	342	342	342
				実績	342	342	342	331
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	342	342	342	342	343	342
	実績	302	325					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	管理面でのトラブル等による閉館となることがないように、図書館の開館日数を選定した。 また、目標値（開館日数）は、年間総数（365日）から条例に基づく休館日（年末年始と館内整理日）及び特別整理期間（5日間）等を差引き342日とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,020,000	R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
実績	632,808	877,907						
指標の選定理由及び目標値の理由								
「来館者数」を指標とすることにより、図書館が生涯学習の拠点として安全かつ適正に管理運営されている施設であることが示せる。また、目標値については、着実に来館数を増やしていく値としている。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「生涯学習の拠点」の役割を今後とも担えるように、施設の維持を継続する。また指定管理館においては、引き続き図書館サービスの充実を目指す。

課題・問題点
新型コロナウイルス感染症予防のため、予防策を徹底し、運営していく必要がある。 各図書館とも、利用環境の維持向上に必要な施設改修を適切に実施していく。

令和4年度 事務事業評価シート

施 策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位
事 業 名	図書館事業費		2
目 的	生涯学習の拠点として、有識者や教育関係者の専門的な知見の活用や区民の意見を取り入れながら、図書館サービスの向上を図る。また、各種イベント等の実施により、区民が生涯にわたって学ぶことができる環境をつくる。		主管課・係（担当）
			ひきふね図書館
			03-5655-2350
対 象 者	来館者 (主に、区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方)		
根 拠 法 令 関 連 計 画	教育基本法、社会教育法、図書館法、墨田区立図書館条例等		
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤10、会計年度任用14、委託先：図書館流通センター
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館運営協議会の運営 ・すみだ文化講座等の実施 ・窓口業務委託 		
経 過	開始年度		終了予定
	<p>[平成10年度] すみだ文化講座第1回開始～第189回開催(平成31年末現在) 令和2年度はコロナのため未実施</p> <p>[平成14年度] 窓口業務の一部委託開始</p> <p>[平成20年度] 全図書館を毎月第3木曜日の館内整理日及び年末年始の休日以外の日を開館日とした。</p> <p>[平成25年度] 図書館運営協議会を設置 ひきふね図書館の開設に合わせて月曜日から土曜日までの開館時間を午後9時までとした。</p> <p>[平成29年度] 緑・立花・八広の3図書館に指定管理者制度を導入</p>		
議 会 質 問 の 状 況	令和3年2月、墨田区立図書館条例改正を行い、区議会図書室との連携が明記された。		
そ の 他 特 記 事 項			

予算・決算額推移（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額（事業費）		165,654	164,637	170,450	182,414	180,511	180,555
A.決算額（令和4年度は見込み）		164,914	163,603	166,952	173,790	177,462	180,555
財 源	国						
	都						
	その他	1,206	1,050	1,206	1,050	985	898
一般財源		163,708	162,553	165,746	172,740	176,477	179,657
執行率（％）		99.6%	99.4%	97.9%	95.3%	98.3%	100.0%
B.人コスト		/	24,609	16,602	17,165	16,712	/
総事業決算額（A+B）		164,914	188,212	183,554	190,955	194,174	/
予算書P（令和4年度）	P258 3-(1)(2)(7)	執行実績報告書P（令和3年度）		P199 3-(1)(2)			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	会計年度任用職員等	31,603	報酬	会計年度任用職員等	35,108	報酬	会計年度任用職員等	36,359
職員手当等	会計年度任用職員期末手当	6,556	職員手当等	会計年度任用職員期末手当	7,134	職員手当等	会計年度任用職員期末手当	7,204
需用費	消耗品費等	5,229	需用費	消耗品費等	4,725	報償費	講演会等講師謝礼	263
役務費	物品運搬等	6,705	役務費	物品運搬等	6,778	需用費	消耗品費等	5,607
委託料	業務委託等	122,628	委託料	業務委託等	122,628	役務費	物品運搬等	7,318
使用料及び賃借料	物品等借上げ	1,069	使用料及び賃借料	物品等借上げ	1,069	委託料	業務委託等	122,721
			負担金補助及び交付金	リース物品補修	20	使用料及び賃借料	物品等借上げ	1,072
						負担金補助及び交付金	図書館総合展出張経費	11

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	イベント実施数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		300	R7	目標	250	260	265	270
				実績	266	465	499	388
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	275	280	285	290	295	300
	実績	18	76					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	図書館においてさまざまなイベントを実施し参加してもらうことにより、今まで図書館を利用していなかった方にも図書館を知ってもらい、今後の利用に繋がるものとする。また、目標値については、着実にイベント数を増やしていく値とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	来館者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
1,020,000		R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000	
			実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000	
実績	632,808	877,907						
指標の選定理由及び目標値の理由								
図書館4館の「来館者数」を指標とすることにより、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能しているとする。また、目標値については、着実に来館数を増やしていく値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「地域の活性化を支える情報拠点」、「区民に役立つ図書館」を目指すために、展示やホームページ等の充実を図る。

課題・問題点
新型コロナウイルス感染予防のため、ホームページを活用した情報発信や資料展示とともに、ネット環境を活用した事業の充実を図っていく必要がある。

令和4年度 事務事業評価シート

施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位		
事業名	資料購入費		3		
目的	区民及び区外の利用者の知る自由が保障されるように、幅広い資料にアクセスできる状態にすること。		主管課・係(担当)		
			ひきふね図書館		
			03-5655-2350		
対象者	来館者 (主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方)				
根拠法令 関連計画	社会教育法、図書館法、墨田区立図書館条例、墨田区立図書館条例施行規則、墨田区立図書館資料収集要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤10
事業内容	区立図書館に必要な資料として媒体別に、適切に選定・購入する。 購入実績値: 図書23,984冊、雑誌10,141冊、新聞72誌、官報2館分、追録等は適宜購入、データベース8種導入				
経過	開始年度	昭和27年度		終了予定	
	[昭和27年度] 墨田区立寺島図書館が開館(東京市立 墨田区立) [昭和32年度] 緑図書館が緑二丁目1番地に開館 [昭和37年度] あずま図書館が吾嬬町西三丁目1番地に開館 [昭和55年度] 立花図書館・八広図書館が開館 [平成 2年度] 緑図書館が緑二丁目24-5号に新築・開館 [平成25年度] あずま図書館と寺島図書館を統合し、ひきふね図書館が開館				
議会質問の状況	・令和2年6月: ビジネス支援の取組について質問あり。 ・令和3年2月: 電子書籍の導入について質問あり。				
その他特記事項					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		63,810	66,120	66,955	68,967	65,327	65,329
A.決算額(令和4年度は見込み)		63,630	65,547	63,277	67,061	65,091	65,329
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		63,630	65,547	63,277	67,061	65,091	65,329
執行率(%)		99.7%	99.1%	94.5%	97.2%	99.6%	100.0%
B.人コスト			37,405	33,204	33,523	33,424	
総事業決算額(A+B)		63,630	102,952	96,481	100,584	98,515	
予算書P(令和4年度)	P258 3-(3)	執行実績報告書P(令和3年度)			P199 3-(3)		

令和4年度 事務事業評価シート

施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位
事業名	障害者サービス事業		4
目的	視覚障害者・高齢者等の図書館を利用することに困難のある区民に対し、必要なサービスを提供する。音訳等のボランティアの育成を図る。		主管課・係（担当）
			ひきふね図書館
			03-5655-2350
対象者	墨田区立図書館障害者サービス実施要綱に該当する者		
根拠法令	障害者差別解消法、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）		
関連計画	墨田区立図書館条例、墨田区立図書館障害者サービス実施要綱、墨田区障害者行動計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤2 非常勤3 すみだTRCグループ
事業内容	(1)対面朗読サービス (2)障害者用資料の貸出・製作 (3)郵送サービス (4)個人宅配サービス (5)団体貸出サービス (6)出張貸出サービス (7)出張お話し会 (8)録音図書用機材の貸出 (9)障害者サービス(マルチメディアデジター図書など)の普及活動 (10)ボランティアの育成と研修		
経過	開始年度	昭和49年度	終了予定
	[昭和49年度] 身体障害者サービス小委員会を設置し開催 [昭和51年度] 視覚障害者への市販テープの貸出開始(資料を自宅に届ける宅配の実施) [昭和52年度] 図書館の市販テープを郵送貸出開始 [昭和53年度] 朗読者養成講座を開催 [昭和55年度] 対面朗読サービスの開催 拡大写本講習会開催 [昭和56年度] 拡大写本サービス開始 [昭和63年度] 点訳者養成講座を開催 [平成2年度] 漢点字講習会の開催 [平成5年度] 出張貸出サービス開始 [平成14年度] 紙芝居、本の読み聞かせ開始 [平成18年度] デジター講習会を開催(以後毎年開催) 高齢者サービス協力者養成講座を開催(以後隔年開催) [平成23年度] 自館制作の「月刊経済情報」をテープからデジター化へ		
議会質問の状況	なし		
その他特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		2,762	2,537	2,780	2,672	2,129	2,185
A.決算額(令和4年度は見込み)		2,296	2,032	2,141	1,861	2,079	2,185
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,296	2,032	2,141	1,861	2,079	2,185
執行率(%)		83.1%	80.1%	77.0%	69.6%	97.7%	100.0%
B.人コスト			20,671	18,350	18,526	18,471	
総事業決算額(A+B)		2,296	22,703	20,491	20,387	20,550	
予算書P(令和4年度)	P258 3-(6)	執行実績報告書P(令和3年度)		P199 3-(6)			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	奉仕者謝礼	623	報償費	講師及び奉仕者謝礼	1,075	報償費	講師及び奉仕者謝礼	1,164
需用費	消耗品・図書の購入	779	需用費	消耗品・図書の購入	537	需用費	消耗品・図書の購入	588
使用料及び賃借料	点字機器等の借上げ	390	使用料及び賃借料	点字機器等の借上げ	390	使用料及び賃借料	点字機器等の借上げ	253
負担金補助及び交付金	団体への年会費	41	負担金補助及び交付金	団体への年会費	41	備品購入費	録音図書再生機購入費	84
						負担金補助及び交付金	団体への年会費	40

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	障害者個人貸出点数					単位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		13,120	R7		目標	8,800	9,280	9,760	10,240
					実績	8,839	9,901	9,925	9,164
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	10,720	11,200	11,680	12,160	12,640	13,120	
		実績	7,086	5,723					
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	貸出点数は事業の円滑な運営の指標の一つとなることから選定した。また、目標値については、貸出点数を着実に増やしていく値とした。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	障害者サービス登録者数					単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		510	R7		目標	180	190	200	210
					実績	182	214	218	199
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	230	260	320	400	500	510	
	実績	222	228						
指標の選定理由及び目標値の理由									
障害者サービス登録者数に応じ、事業が円滑に運営されていることを確認できる。目標値については、今までの実績及び墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)を踏まえ令和2年度に再設定した。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	「墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)」及び「視聴覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」に基づき、図書館障害者サービスのPR及びボランティアの育成等を進め、障害者の利用を促進していく。 また、コロナウイルス感染症対策を受けて実施した、障害児向けのリモートお話し会や障害者施設への団体貸出等の非来館型サービスを行う一方で、出張お話し会等の来館型サービスも再開し、より多くの障害者にサービスを提供できるようにする。

課題・問題点
利用者増を図るため、普及啓発活動の強化とボランティアの育成、非来館型サービスを進めると共に、障害児施設への出張お話し会などを来館型のサービスも再開し、様々なサービスの提供を積極的に進めていく。 また、利用者の高齢化が進み、読書意欲の低下傾向がみられるため、録音図書や拡大写本など様々な形態での提供を工夫していく必要がある。

令和4年度 事務事業評価シート

施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位
事業名	子ども読書活動推進計画事業費		5
目的	子どもの読書活動を推進することで、生涯にわたり学ぶことができる力を育むことを目指す。また、子どもの読書活動の推進は、家庭・地域・学校など関係機関との連携・協力のもと総合的・体系的に実現されるものであり、地域全体の生涯学習環境の醸成に資する。		主管課・係（担当）
			ひきふね図書館
			03-5655-2350
対象者	0歳～18歳の子ども		
根拠法令 関連計画	図書館法、墨田区立図書館条例、墨田区子ども読書活動推進条例、墨田区子ども読書活動推進計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤7 委託先：図書館流通センター
事業内容	墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)に基づき、家庭、地域、学校等で子どもが読書に親しむ機会と環境を積極的に整備する。 ・小学校の学校図書館運営委託 ・ブックスタート ・調べる学習支援 ・施設等への団体貸出 ・ティーンズサービス等		
経過	開始年度	昭和26年度	終了予定
	[平成17年度] 墨田区子ども読書活動推進計画 [平成22年度] 墨田区子ども読書活動推進計画(第2次) [平成27年度] 墨田区子ども読書活動推進計画(第3次) [平成30年度] 墨田区子ども読書活動推進条例 [令和2年度] 墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)		
議会質問の状況	なし		
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額（事業費）		4,769	37,870	43,002	47,482	53,088	54,441
A.決算額（令和4年度は見込み）		4,678	36,475	41,874	46,880	52,676	54,441
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		4,678	36,475	41,874	46,880	52,676	54,441
執行率（％）		98.1%	96.3%	97.4%	98.7%	99.2%	100.0%
B.人コスト			37,405	40,194	40,581	40,460	
総事業決算額（A+B）		4,678	73,880	82,068	87,461	93,136	
予算書P（令和4年度）	P258 3 - (5)	執行実績報告書P（令和3年度）			P199 3 - (5)		

令和4年度 事務事業評価シート

施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位		
事業名	図書館と学校図書館の連携事業		6		
目的	学校図書館の環境整備や支援を通して読書活動の推進を図ることにより、児童・生徒が情報リテラシー能力を身に付け、さまざまな学習活動に主体的に取り組んでいける環境をつくる。		主管課・係（担当）		
			ひきふね図書館		
			03-5655-2350		
対象者	児童・生徒及び教員、学校図書館司書				
根拠法令 関連計画	学校図書館法、墨田区子ども読書活動推進条例、墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）、墨田区立図書館条例				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤9
事業内容	区内小中学校での児童・生徒の読書活動の推進を図るため、学校図書館システムの運用支援を行う。				
経過	開始年度	平成18年度		終了予定	
	[平成18～23年度] 小中学校35校に学校図書館システムを導入				
議会質問 の状況	なし				
その他 特記事項	小中学校の学校図書館に学校司書を配置すると共に、図書館システムの連携を通して、ひきふね図書館から学校図書館の運営及び統計資料等作成の支援を行っている。				

予算・決算額推移（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額（事業費）		15,135	14,760	14,489	15,286	15,887	14,839
A.決算額（令和4年度は見込み）		14,992	14,729	14,460	15,107	15,886	14,839
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		14,992	14,729	14,460	15,107	15,886	14,839
執行率（％）		99.1%	99.8%	99.8%	98.8%	100.0%	100.0%
B.人コスト		/	13,781	12,233	12,351	12,314	/
総事業決算額（A+B）		14,992	28,510	26,693	27,458	28,200	/
予算書P（令和4年度）	P258 5	執行実績報告書P（令和3年度）		P200 5			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
役務費	通信運搬料	7,392,000	役務費	通信運搬料	7,587,360	役務費	通信運搬料	7,618,000
委託料	施設管理委託料	1,947,454	委託料	施設管理委託料	1,947,778	委託料	施設管理委託料	2,186,000
使用料及び賃賃料	使用料及び賃賃料	5,767,324	使用料及び賃賃料	使用料及び賃賃料	6,350,004	使用料及び賃賃料	使用料及び賃賃料	5,035,000

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	学校図書館連携システム稼働日数				単 位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		365	R7	目標	366	365	365	365
				実績	366	365	365	365
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	366	365	365	365	366	365
	実績	366	365					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	システムを評価する基準として最も基本的な指標となる、システムの稼働日数を選定した。また、目標値としては、システムが停止して利用できない日がないことを目標に365日とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	児童・生徒一人あたりの学校図書館年間平均貸出冊数				単 位	冊
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
55/10()		R7	目標	34/6	36/8	38/9	40/10	
			実績	35.7/2.5	38.9/2.5	36.7/2.3	39.1/2.7	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		43/4	46/6	49/8	52/9	55/10	55/10	
実績	45.2/2.8	52.1/3.1						
指標の選定理由及び目標値の理由								
学校図書館における読書活動を量的に示す指標として選定した。目標値については、墨田区子ども読書活動推進計画(第4次)における最終年度(令和6年度)の目標値を再設定した。(小学校の目標値/中学校の目標値)								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	学校図書館法・図書館法・墨田区立図書館条例・子ども読書活動推進条例等により、司書の配置・図書館の支援は必須であり、図書館システムを設置することで、学校図書館の充実を図っている。

課題・問題点
学校図書館システムは、児童・生徒の読書活動の推進を図るため、学校司書がより効率的に業務を行える環境を整える必要がある。

令和4年度 事務事業評価シート

施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位		
事業名	図書館オンライン事業		7		
目的	図書館の効率的な運営、利用者の利便性を高める役割を担うことで、区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。		主管課・係（担当）		
			ひきふね図書館		
			03-5655-2350		
対象者	来館者 (主に区内在住・在勤・在学の方、近隣区に在住の方)				
根拠法令	図書館法、墨田区立図書館条例・施行規則				
関連計画	墨田区行政情報化推進計画、墨田区情報システム調達・運用ガイドライン				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤6
事業内容	図書館システムをオンライン化することで、蔵書の閲覧、資料の予約・貸出・返却等、図書館サービスの向上と業務の効率化を図る。				
経過	開始年度	昭和62年度		終了予定	
	[昭和62年度] オンラインシステムの導入開始 [平成17年度] インターネットによる予約サービスを開始 [平成24年度] ひきふね図書館開館に合わせ、システム更新実施、同年ICタグシステム導入 [令和元年度] システム更新(OSをWIN10に更新)				
議会質問の状況	なし				
その他特記事項	墨田区立図書館条例における連携として、各コミュニティ会館図書室・すみだ女性センターにもシステム端末を連携している。				

予算・決算額推移（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額（事業費）		69,881	47,901	54,124	64,779	64,764	64,758
A.決算額（令和4年度は見込み）		68,818	46,311	51,917	64,763	64,763	64,758
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		68,818	46,311	51,917	64,763	64,763	64,758
執行率（％）		98.5%	96.7%	95.9%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト			17,718	15,728	15,880	15,832	
総事業決算額（A+B）		68,818	64,029	67,645	80,643	80,595	
予算書P（令和4年度）	P258 4	執行実績報告書P（令和3年度）		P200 4			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費	1,599,759	需用費	消耗品費等	1,598,860	需用費	消耗品費等	1,593,000
役務費	通信運搬料	2,781,240	役務費	通信運搬料	2,781,240	役務費	通信運搬料	2,782,000
委託料	施設管理委託料	32,702,076	委託料	施設管理委託料	32,702,076	委託料	施設管理委託料	32,703,000
使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	27,679,898	使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	27,679,898	使用料及び賃貸料	使用料及び賃貸料	27,680,000

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	図書館オンライン稼働日数				単位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		365	R7	目標	366	365	365	365
				実績	366	365	365	365
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	366	365	365	365	366	365
	実績	366	365					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	システムを評価する基準として最も基本的な指標となる、システムの稼働日数を選定した。また、目標値としては、システムが停止して利用できない日がないため、目標を365日とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	インターネット利用等による予約受付件数				単位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
465,000		R7	目標	42,000	43,000	43,000	435,000	
			実績	426,957	463,896	500,871	536,026	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		440,000	445,000	450,000	455,000	460,000	465,000	
実績	589,909	703,741						
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用者が本を借りる際に、窓口・電話による予約に加えて、図書館webサイトからの予約も可能であることは、図書館サービスの向上に寄与していることから、この指標を選定した。目標値は実績値等を参考に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館システムのオンライン化は、図書館サービスの向上と業務の効率化に欠かせないものであることから、引き続き運営を行っていく。

課題・問題点
令和3年1月からWebリクエストサービス(未所蔵資料のリクエスト)も行っており、インターネットによる利用者へのサービス拡充を今後図っていくが、他部署との連携や、電子図書館(広義のデジタルアーカイブ)など、図書館サービスの充実による見直しに伴い、図書館システムの改修なども必要となってくる。

令和4年度 事務事業評価シート

施策	521	区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる	部内優先順位		
事業名	視聴覚資料		8		
目的	視聴覚資料の収集・保存を行い、広く区民の利用に供することにより、その教養と文化の発展に資する。		主管課・係（担当）		
			ひきふね図書館		
			03-5655-2350		
対象者	来館者 (主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区在住の方)				
根拠法令 関連計画	図書館法、墨田区立図書館条例等				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4
事業内容	墨田区立図書館に必要な視聴覚資料の収集、保存、貸出等				
経過	開始年度	昭和50年度		終了予定	
	[昭和50年度]レコード貸出開始 [昭和63年度]CD貸出開始 [平成2年度]ビデオテープ貸出開始 [平成17年度]DVD貸出開始				
議会質問 の状況	なし				
その他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額（事業費）		2,358	2,358	2,358	2,328	2,211	2,179
A.決算額（令和4年度は見込み）		2,342	2,325	2,350	2,243	2,208	2,179
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		2,342	2,325	2,350	2,243	2,208	2,179
執行率（％）		99.3%	98.6%	99.7%	96.3%	99.9%	100.0%
B.人コスト		/	7,875	6,990	7,058	7,037	/
総事業決算額（A+B）		2,342	10,200	9,340	9,301	9,245	/
予算書P（令和4年度）	P258 3 - (4)	執行実績報告書P（令和3年度）		P199 3 - (4)			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	CD・DVD購入	1,720	需用費	CD・DVD購入	1,689	需用費	CD・DVD購入	1,583
委託料	CD・DVDマーク作成	518	委託料	CD・DVDマーク作成	513	委託料	CD・DVDマーク作成	589
使用料及び賃借料	研磨装置借上	7	使用料及び賃借料	研磨装置借上	7	使用料及び賃借料	研磨装置借上	7

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	視聴覚資料の貸出点数				単位	点
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		150,000	R7	目標	150,000	150,000	150,000	150,000
				実績	150,833	147,524	140,118	132,299
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
		実績	108,571	124,970				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	社会生活の変化を反映して、視聴覚資料の貸出点数は年々、減少傾向にある。名盤・名作や郷土資料など収集価値のある資料や需要の見込める資料を収集していくことにより、貸出点数を維持することを目標とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
1,020,000		R7	目標	934,000	940,000	950,000	960,000	
			実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000	
	実績	632,808	877,907					
指標の選定理由及び目標値の理由								
図書館4館の「来館者数」を指標とすることにより、図書館があらゆる世代の利用者のニーズに応えるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能していると考え。また、目標値については、着実に来館者数を増やしていく値とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	名盤・名作や郷土資料を中心とした視聴覚資料は、区民の教養と文化の発展に資するため、引続き適切に選定・購入していく。

課題・問題点
図書館用のDVDは、著作権法上、権利者へ相当額の補償金を支払った上(販売額に上乗せ)で利用(無料貸出)の許諾を受けているため、価格が一般向けのものよりも高額で、かつ、権利者からの許諾がないために図書館で購入できない作品もある。このように図書館で購入できる視聴覚資料に限りがあるなかで、郷土資料などの収集価値が高い視聴覚資料を収集・所蔵し、また、必要に応じて保存していく必要がある。